平成28年1月13日発行

第239号

地球通信

学校法人　国際ことば学院
国際ことば学院日本語学校
〒422-8076 静岡市駿河区八幡3丁目2-28
TEL 054-284-8383 / FAX 054-284-8338
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://jp.kotoba.ac.jp/ ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ info@kotoba.ac.jp

明けましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願いいたします

明けましておめでとうございます。本年も国際ことば学院と学生たちに温かいご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

20 年前、私が持った初めてのクラスは最初学生数 3 人で、全部で 4 クラスしかなかった。それが今は 15～16 クラスが当たり前になっている。あの当時は学生のレベル差が大きく教師も大変だったが、今思うと経営は更に苦しかっただろう。ある程度の規模を持つことが学校の安定には必要不可欠だからだ。

「学校経営という言葉があるけれど、教育と経営は両立するのだろうか。」これがここ数年の私の中の一番の命題だった。経営というのは、まず企業理念があり、利潤を追求することが目標であり、その過程で社員も幸せになり、社会貢献もできれば申し分ない。一方、教育の目標は、教育理念に基づいて人を育て、社会に送り出すことで、その中に利益をあげるという概念の入る余地はない。

歴史上、良い教育を行おうとする者は、皆全財産をなげうって教育環境を整えていたように思う。わが末續理事長もその例にもれず、私財を投じてこの 25 年間滅私奉公をされてきた。現在の学院はこの理事長の奮闘の上に成り立っている。

今後の 25 年間はどうだろうか。

教師としては学生にできるだけの環境を与えてやりたい。広くて明るい校舎のほうがいい。自習室も教育機器も新刊図書も欲しい。力のある立派な先生にいてほしい。語学教育なのだからクラスの人数は少ないほうがいい、ときりがない。

しかし、収入、すなわち学生の納入金には限りがある。留学生にとって負担にならないように授業料は安いほうがいいのだから、その枠は大きくはない。もし際限なく使ってしまったら、一時的には目を引くだろうが、そのうち教育にはね返る。悪くすると学校自体が存続できなくなる。だからといって十年一日同じことを繰り返していては時代の流れに置いていかれる。先を見通す目も必要になる。

2015 年 7 月生入学式
懇親会にて

ここに、教育機関における金銭的な経営の意義がある。規模を保つために学生募集に注力する、教室や設備等ハード面ソフト面の環境を整備する、教職員に気持ち良く勤めてもらえるよう条件を整える、地元に貢献する、変化を恐れず将来を展望した投資をする。様々な活動の中でバランスをとり、最も重要なことは、よりよい教育のために収支をマイナスにしないこと。安定した経済基盤が教育力を上げ、学生や関係者を満足させ、ひいてはそれが学校の発展につながる。

年頭の清々しい空気の中、現実的な話で心苦しいが、ことば学院の次の 25 年のために「教育のための経営」を真剣に考えるべき時が来ていると思う。

学院長　渡邉真理

座禅を体験してきました

静岡市子ども未来局青少年育成課が主催する座禅体験が、11 月 28 日（土）臨済寺で行われました。当日は静岡市内の小学生にまじり本校からは 16 名の学生が参加しました。学生たちは小学生と座禅を体験し、日本の文化について学んだ一日となりました。お声をかけてくださいました、静岡市青少年育成課の方々ありがとうございました。

今回、D2 クラスのケネディさんに感想を書いてもらいました。

初めて日本のお寺へ行きました。そこで座禅を30分ぐらいやりました。それをやるのはとても大変でした。なぜなら座る形が難しかったからです。それは初めてやったから安喜かったです。

初めて日本のおぼうさんたちと話しをしました。日本のお寺の古い歴史の物をみました。それは私の国スリランカにあるお寺と同じ物がありました。

小学生と話したのが一番楽しかったです。

また日本のお寺へいってみたいです

D1クラス ケネディ アドハマーリ ラサンギカ

ホームステイ体験

ヒッポファミリークラブが主催する、ホームステイが、12 月 12（土）、13（日）に行われました。本校から 7 名の学生が各家庭にお邪魔し、思い思いの時間を過ごしました。学生にとって素晴らしい体験ができる場を提供してくださいましたヒッポファミリークラブの皆様、ありがとうございました。

今回、01 クラスのタンチョーアウンさんに感想を書いてもらいました。

一緒にイチゴのアイスクリームを食べました！おいしい！！

対面式にて。どうぞよろしくお願いします。

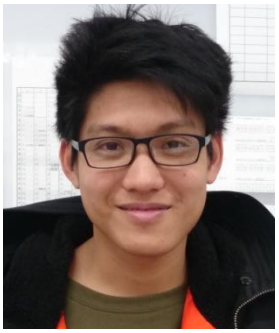
私のホームステイのごかぞくは花村様のごかぞくです。おとうさんとおかあさんはとてもしんせつです。私はおとうさんにミャンマー米料理を作ってさしあげました。私はおかあさんから日本の米料理を作っていただきました。日本米料理はとてもおもしろいです。そのひはおたくでいっしょに朝食と昼食を食べました。そのあと私たちはイチゴ大田にいきました。ここでイチゴアイスクリームを食べました。私はお父さんとお母さんにいろいろおせわになりました。もしもう一回チャンスがあれば花村様のおたくへもう一回いきたいです。

01クラス タンチョーアウン

合格速報

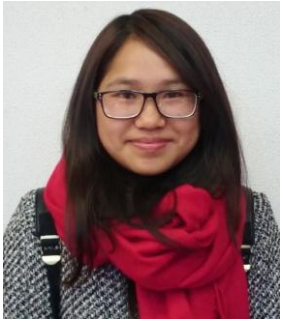
２年生は卒業まで残り２カ月となりました。学生たちは進学準備のため、毎日忙しく過ごしています。今回、合格した２人の学生に受験についてインタビューしたのでご紹介します。これから受験を控えている学生や１年生の皆さん、参考にしてみてください。

＜質問＞
1. どこの学校を受験しましたか？
2. 準備で大変だったことは？
3. 受験はどうでしたか？
4. 受験に合格する何か秘訣はありますか？
5. 日本語学校卒業後の目標を教えてください。



D2クラス　ヒュンソンさん
（ベトナム）

1. 福井工業大学大学院社会システム学専攻博士前期課程建築学コースを受験しました。
2. 専門用語を覚えるのが大変でした。
3. 試験は筆記と面接でした。筆記は長い時間なので疲れましたが、専門用語と小論文はできました。面接は試験官が３人いたので、とても緊張しました。
4. 毎日、毎日、練習することです。あと病気をしないように体調管理をすることです。
5. 日本で建築を学び、ベトナムにある日本の建築会社に就職して家を建てたいです。



D1 クラス　アスミタさん
（ネパール）

1. 武蔵野大学グローバル学部グローバルビジネス学科です。
2. 出さなければいけない書類をそろえるのが大変でした。
3. 大学に着くまでが不安でした。無事に着けて安心しました。面接は緊張したけど、何回も練習したので自信がありました。
4. 書類集めはなるべく早くからしたほうがいいです。面接の練習はたくさんしたほうがいいです。
5. 大学で世界のビジネスについて学んで、日本とネパールに関係する会社で働きたいです。

今月のクラス　Bクラス

各クラスにフォーカスをあて、授業風景や課外活動を皆様に知っていただくコーナーです。定期的にレポートしていきますので、お楽しみに。

今回はBクラスです。12月18日（金）、ホールにてラジオドラマの制作発表が行われました。5グループに分かれた学生たちは、シナリオ作りから音響等の設備まで自分たちで準備したオリジナルドラマを発表しました。笑いあり、涙あり、そして私たち自身改めて考えさせられる内容はとても聞きごたえある作品となりました。話す速度、抑揚、間の取り方等練習の成果が見られました。目を閉じて聞いていても情景が浮かび、まるで映像を見ているようでした。

「不思議な声」
左からウィンディさん、フィンさん、ウィントゥエさん、オビヤントさん

「仲間」
左からグエンさん、リーさん、ススさん、ヘインさん、ハムザーさん

2016年主な学校行事

3月10日（木）　平成27年度　卒業式
4月23日（土）　4月生入学式
5月13日（金）　運動会
7月23日（土）　国際文化交流会
**　　7月生入学式**
10月8日（土）　秋の文化祭
10月29日（土）　10月生入学式

ご寄付ありがとうございます

根本茂様　　テーブル　カラーボックス　ハンガーラック　寝具
島田様　　タンス

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

＜編集後記＞明けましておめでとうございます。今月号から川勝が担当いたします。ことば学院の細部まで皆様にお伝えできるよう、バラエティにとんだ紙面作りをしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。